

発達障がい特性を背景にもつ

8050問題への対応 vol.2

昨年度は、発達障がい特性を背景に持つことが予想される中高年のひきこもりの方に出会った際の対応の工夫や支援について、関係機関の方々とともに研修を開催いたしました。その際にご希望が多かった「事例検討会」を今年度は実施いたします。検討する事例は、当事業内でモデルケースとして地域包括支援センターとおがるが協働支援を行うものを予定しております。地域包括支援センターの皆様と一緒に、8050問題への対応を考えていきたいと思っておりますので、ぜひご参加ください。

北海道スタイルと会場の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に準じた研修を行います。
ご協力のほどよろしくお願いいたします

主催：社会福祉法人はるにれの里

参加費無料
先着50名様
(事前予約制)

[日時] ▶▶▶ 8月31日(月) 13:30~15:30

[会場] ▶▶▶ かでる2.7 820 研修室
(札幌市中央区北2条西7丁目)

[対象] ▶▶▶ 地域包括支援センターの職員の皆様
相談支援にかかわる職員の皆様

※会場の規定により、研修来館前の検温にご協力ください。マスクを着用していない方、37.5度以上の方は入館ができませんのでご注意ください。その他の事項は裏面をお読みください。

- 開会挨拶
- 発達障害児者地域生活支援モデル事業説明
- 地域包括支援センターと協働している事例の検討
- まとめ(札幌こころの診療所 院長 中野育子先生)

お申し込み・お問い合わせ

お申込み

googleフォーム (<https://forms.gle/rWqjtXC2q1GActz48>) よりお申し込みください。

締切 8月24日(月)

※定員になり次第締め切らせていただく場合がございます。大まかな事業種ごとの人数制限をさせていただく場合もございます。お断りの場合のみ8月27日までにご連絡いたします

お問い合わせ

TEL 080-3694-1950

MAIL sapporo-hattatsu@harunire.or.jp

札幌市自閉症・発達障がい支援センター おがる 担当 石川 西尾

「発達障がい特性を背景にもつ8050問題への対応vol.2」にご参加される皆様へのお願い

研修会場である道民活動センター(かでの2・7)より、参加者への周知をお願いされています。下記黒枠線内の内容に従ってご参加ください。また、この内容は「道民活動センター新型コロナウイルス感染症拡大防止対策」に沿って作成しております。

来館者は、次の事項を予め承知の上来館願います。

- ・マスクを着用していない者は、入館できないこと。
- ・37.5度以上の発熱のある者は、入館できないこと。
- ・正面玄関に設置のサーモグラフィー装置で発熱が検出された来館者は、指定管理者が行う検温に協力しなければならないこと。
- ・咳エチケット、手洗いを徹底すること。
- ・「北海道ソーシャルディスタンス」の取組みを実施すること。

当日の対策

- ・館内では、常にマスクを着用すること。
- ・咳エチケット、手洗い、手指の消毒を徹底すること。
- ・社会的距離の確保の徹底を図ること。
- ・次の症状に該当する場合は、入場を控えること。
咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁、鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐
- ・過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域への訪問歴がある場合、参加はお控えください